

# 野田物語

民俗学者・宮本常一 ④

## 宮本を支えた

### 洪沢敬三の教え

昭和14(1939)年9月末に小学校を辞め、家族を大阪に残して、吉野、中国、東北、四国、能登、瀬戸内各地を歩いた宮本常一は、その後、洪沢敬三に呼ばれて上京します。

そして、同年10月25日から洪沢が主宰するアチック・ミュージアム(後に「日本常民文化研究所」)に入所し、洪沢邸に住み込むようになります。

アチック・ミュージアムとは、洪沢が自費で経営した民俗や文化科学などの研究所で、宮本も含めて若い学者を多く育てました。

洪沢は宮本に対し「…日本を一通り歩いて見ておくと、それが実績にもなり、君自身の役にも立つのではないかと思うから無理に上京させた。ただ君に



民具が所狭しと並べられた昭和12年ごろのアチック・ミュージアム(上)と洪沢敬三



は学者になってももらいたくない…(中略)…しかし本当の学問が育つためにはよい学問的な資料が必要だ。その資料——とくに民俗学はその資料が乏しい。君はその発掘者になってもらいたい。こういう作業は苦勞ばかり多くてむくいられることは少ない。しかし君はそれに耐えていける人だと思ふ」と話し、自らの思いを託します。

また、洪沢はよく宮本に対し、自分の知人の人物評や財界の人びとの批評などを聞かせ、尊敬する人に対して偶像崇拜的になつてはいけないこと、つまりいつも正しい価値評価をして、一步退いて見る

ことの重要さを説きました。宮本は「民俗学の旅」講談社)で「大事なことは主流にならぬことだ。傍流でよく状況を見ていくことだ。舞台で主役をつとめていようと、多くのものを見落とすしてしまう。その見落とされたものの中に大事なものがある。それを見つけてゆくことだ」と洪沢からの教えを書いています。

また「日本民俗文化体系3 澁澤敬三」講談社)の中では「澁澤の仕事は理論をふりまわすことではなかった。ほんとうの学問を育てていくには本當の資料になり得るものの調査発掘をすることが大切であり、またそういう作業をいとわない人々を育てることであつた。一人では出来なくても大ぜいの協力があればかならず成功することを信じていた」と洪沢を評し、途中で途切れたことはありましたが、宮本は、昭和36(1961)年まで洪沢邸を拠点として、さまざまの人たちと交流しながら日本全国を見て回り、全国各地で調査や資料収集を行いました。

【写真提供】(財)洪沢栄一記念財団付属洪沢史料館

## 10月の休日当番医

休日当番医での診療時間  
 外科・産婦人科 = 9時~22時 (ただし16時~19時は除く)  
 内科 = 9時~16時 (19時~22時は急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
7日(日)	小張総合病院 (☎7124-6666)	山縣医院 (☎7125-3741)	川間太田産婦人科医院 (☎7127-1135)
8日(月)	野田中央病院 (☎7122-6161)	岡田小児科医院 (☎7122-2519)	キッコーマン総合病院 (☎7123-5911)
14日(日)	東葛クリニック野田 (☎7124-3101)	東葛飾病院 (☎7196-1166)	小張総合病院 (☎7124-6666)
21日(日)	須藤整形外科 (☎7122-1221)	関宿中央医院 (☎7198-5108)	遠藤産婦人科医院 (☎7124-7860)
28日(日)	キッコーマン総合病院 (☎7123-5911)	青木クリニック (☎7198-7864)	杉崎クリニック (☎7125-1070)

\*休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272:コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認をしてください。

### 急病センター


☎7125-1188

▼内科(小児科) = 19時~22時まで(毎日)  
 ▼歯科診療 = 9時~12時まで(休日)

▼合併後の新市建設事業のひとつとして、平成16年1月から運行を開始した「まめバス」は、おかげさまで9月3日に、利用者が10万人を突破しました▼今月から、さらに皆さんの要望に応え、ルートの新設や見直しを行い、体育館やグラウンドゴルフ場を備えた「関宿総合公園」(新北ルート)や、イベント広場、三ッ堀里山自然園などがある「スポーツ公園」(新南ルート)などの停留所も設置しました▼さわやかな秋日和には、「まめバス」を利用して、スポーツや自然散策を楽しんでみてはいかがでしょう(わ)


編集後記

市の木




けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり

人口と世帯(19.9.1現在) ●人口=155,343人(+147) 男=78,150人(+83) 女=77,193人(+64) ●世帯数=58,583世帯(+86) ●市の面積=103.54km<sup>2</sup>  
 市報のだ 第1005号 平成19年10月1日号/発行=野田市(〒278-8550 野田市鶴奉7番地の1・☎@7125-1111)/編集=企画財政部秘書広報課